

< 追加資料 1 >

1 札幌市における児童虐待取扱件数

(単位：件)

	児童相談所	区役所	合計
21年度	620	188	808
22年度	478	208	686
23年度	437	432	869

2 札幌市における児童虐待の通告件数

(単位：件)

	児童相談所	区役所	合計
21年度	736	-	736
22年度	814	217	1,031
23年度	710	187	897

- 1 21年度以前は、児童虐待の通告先を児童相談所としていた
- 2 22年度は、各区に児童虐待通告に対応する担当職員を配置した
- 3 23年4月に、各区役所に家庭児童相談室を設置した

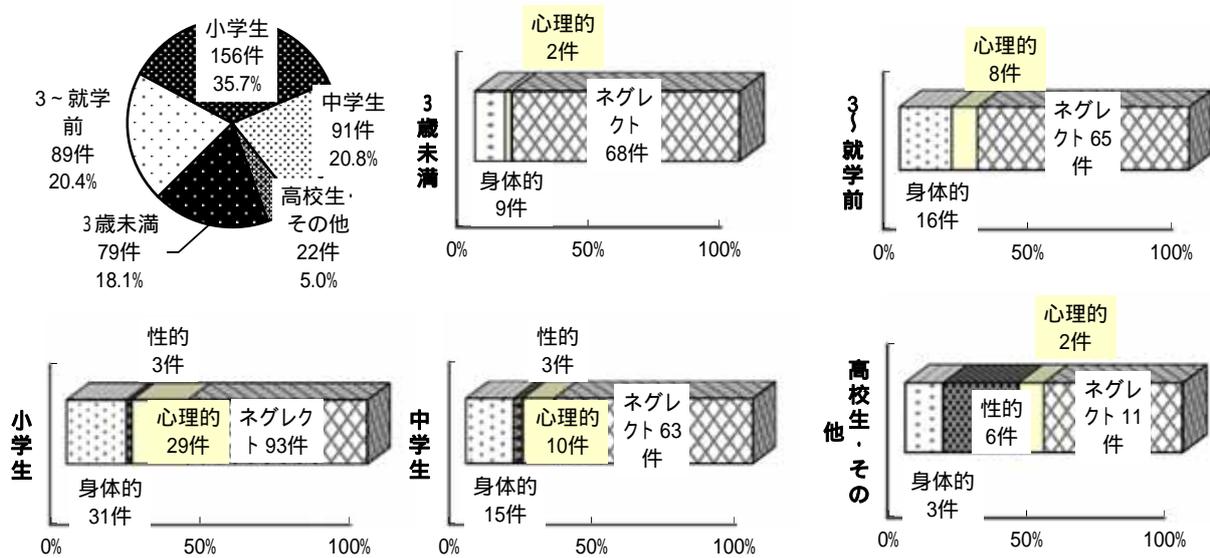
< 追加資料 2 >

1 被虐待児の年齢構成と虐待種別内訳

(単位：件)

	3歳未満	3歳～就学前	小学生	中学生	高校生・その他	合計
21年度	106 (17.1%)	146 (23.6%)	250 (40.3%)	92 (14.8%)	26 (4.2%)	620 (100%)
22年度	83 (17.4%)	101 (21.1%)	179 (37.4%)	88 (18.4%)	27 (5.6%)	478 (100%)
23年度	79 (18.1%)	89 (20.4%)	156 (35.7%)	91 (20.8%)	22 (5.0%)	437 (100%)

< 23年度の内訳 >



被虐待児の年齢構成をみると、小学生の割合が最も高いが、「3歳未満」と「3歳～就学前」を合計すると、毎年度「0歳から就学前まで」の児童の割合が最も高くなっている。

また、虐待種別ごとの傾向をみると、いずれの年齢構成においてもネグレクトの割合が最も高くなっている。